

### (3) 放置自転車対策

路上駐輪や駐輪場内の長期放置自転車を削減するため、放置禁止区域の拡大や撤去の強化など、施策メニューを立案する。

#### ① 放置禁止区域の拡大

目 標	路上駐輪を削減し、駐輪場を適正に利用していただくため、中心市街等を対象に、駐輪場整備が整い次第、放置禁止区域を拡大するとともに、放置自転車の撤去回数も増やす
実 施 内 容	<p>●設定範囲</p> <p>新潟駅万代口地区：現在の放置禁止区域を一回り拡大する。</p> <p>新潟駅南口地区：駅から半径約 500m のエリアで、商業施設や路面店舗ならびに公共公益施設など不特定多数の集客が見込める施設を含む範囲に新たに設定する。</p> <p>万代地区：地区全体を対象とする。（例：流作場五差路～新潟市総合福祉会館～新潟総合テレビ～万代橋に係る範囲）</p> <p>古町地区：地区全体を対象とする。（例：県道白山停車場・女池線～国道 116 号～西堀前通 9～上大川前通 9～上大川前通 1 に係る範囲）</p> <p>放置禁止区域の拡大及び指定は、歩行者の安全性を確保するために行うものである。地区内の駐輪場を確保した後に、地元とも調整を行いながら実施する。</p> <p>また、放置禁止区域を市民が認識できるように、レンタサイクルの貸し出し時に説明するなど、情報提供を行う。</p> <p>●規制の強化</p> <p>駐輪場への誘導を行うとともに撤去をこれまで以上に頻繁に行い、返還料の値上げなども検討する。放置禁止区域内には、路上駐輪の禁止を周知する看板などを設置し、路上駐輪の防止策を講じる。</p>
対 象 地 域	新潟駅万代口地区、新潟駅南口地区、古町地区、万代地区



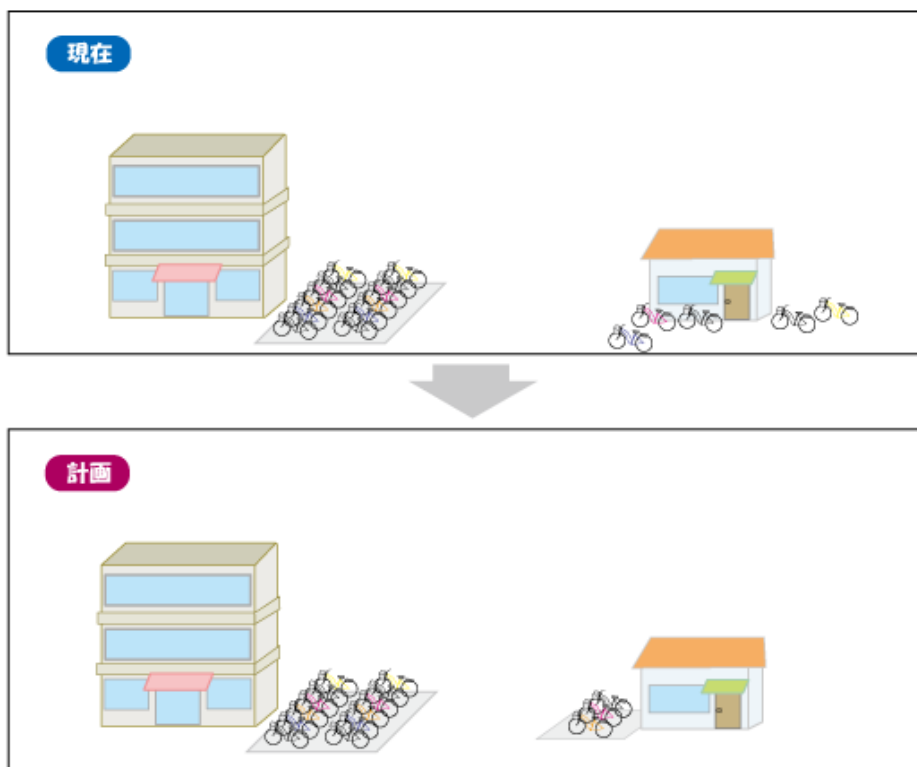
【放置禁止区域の拡大の計画イメージ】



## ②「自転車等駐車場の附置等に関する条例」の改正

目 標	集客施設が独自に駐輪場を設けることで収容台数を拡大する
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象とする施設用途や施設規模の条件改正           <p>現在用途別に駐輪場設置の基準となる面積を設定しているが、これを改正し、実態に即した駐輪場を設置できるよう基準面積を改定するよう努めます。また、対象となる施設の用途を追加し、多くの店舗で駐輪場を確保するように努める。</p> </li> <li>●収容台数の拡大           <p>現在の駐輪場規模の基準を改正し、より多くの台数に対応した駐輪場を整備することとする。自転車による施設利用状況を踏まえ、施設別に確保する台数を補正する。（例えば、生鮮食品、日用品を扱うなど、自転車利用の多い店では、大きな面積を確保し、家具店、家電量販店など、自転車利用が少ない施設では緩和措置を設ける。）</p> </li> <li>●駐輪場設置場所の配慮           <p>単に敷地内に駐輪場を設ければいいのではなく、入口に近い場所や歩道に沿った場所など利用しやすい場所に駐輪場を整備するよう設置場所の条件を追加する。</p> </li> </ul>

### 【附置等改正の計画イメージ】

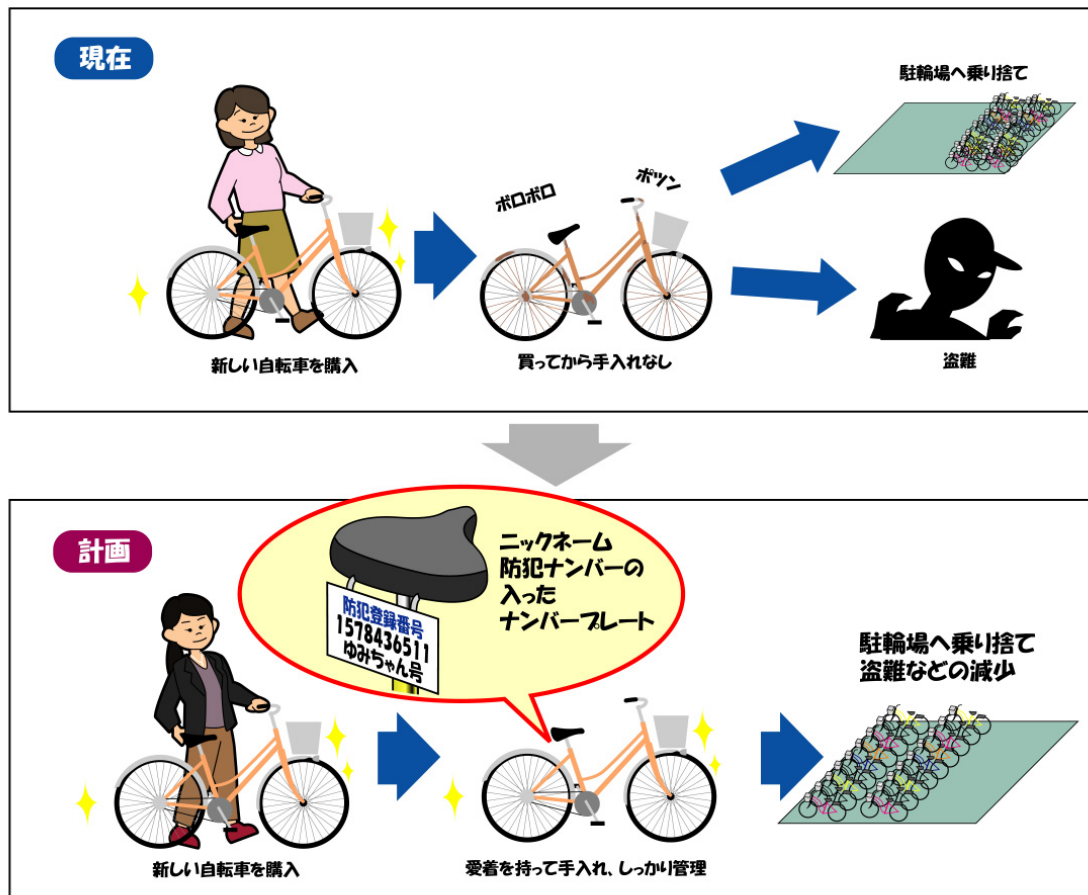


### ③ニックネーム入りナンバープレート添付の運動

目 標	自転車に対する愛着を持たせ、自転車を大事にする気持ちを育て、乗り捨てを防止する
実施内容	<p>●実施方法</p> <p>自分のニックネームや似顔絵などを入れたプレートを自転車に付けるなど、自分だけの自転車にカスタマイズしていくことで、自転車に対するこだわりを持ってもらい、長く大事に利用してもらうようにする。</p> <p>高校や大学などへの協力を求め、学校祭でのコンテストの開催やサークル活動などでコンセプト車の開発などを実施することで、学生からの普及を図る。</p> <p>また、駐輪場で定期利用の登録を行うときに、ナンバープレートを設置するようにすることで、取り付けるきっかけを作る。決まった背景、イラスト、ロゴマークなどを準備しておくことで、簡単に作れるようにしておくことが必要である。</p> <p>駐輪したときに、場所が分からなくなること、整理で移動されることを考慮すると、ナンバープレートは自分の自転車の目印となる。</p>



#### 【ニックネーム入りのナンバープレートの設置の計画イメージ】



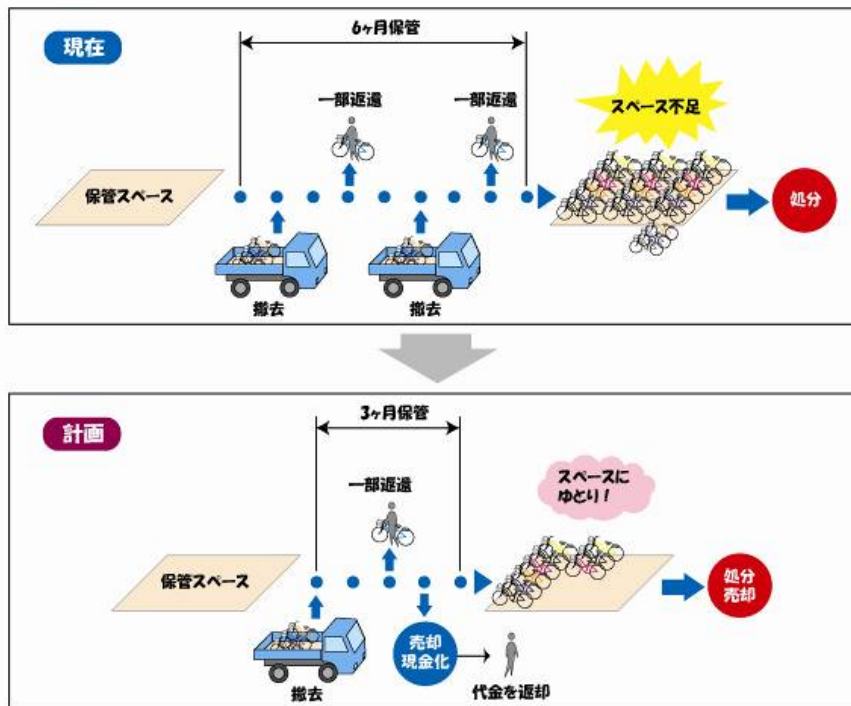
#### ④撤去の強化

目 標	撤去回数を増やす
実 施 内 容	<p>●実施時間と場所 朝：通勤・通学の利用者を対象に、駐輪場付近およびバス停付近を中心に、主に平日に実施。 昼：買物目的の利用者を対象に、路上駐輪の集中する商業施設周辺を中心に、主に平日に実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>●実施方法 放置自転車が無いことが、更なる路上駐輪を防ぐことに最も効果があるため、撤去を行う箇所では全ての放置自転車を撤去する。</p> <p>●放置対策月間の設定 毎年5月を放置対策月間と設定し、禁止区域外で一斉撤去を行う。放置禁止区域以外でも撤去されるということを知ってもらい、注意喚起も踏まえた取り組みとする。</p> <p>●撤去・返還作業の効率化 現在の放置禁止区域における撤去自転車の返還率が約80%と高いが、その他の地域では、返還率は15%程度と差が大きい。返還場所が近く、係員が常駐しており、平日日中ならいつでも返還可能であることが大きく影響していると考えられる。 撤去場所と返還場所を近い場所にすること、または、返還場所に係員を常駐させることなどを実施し、利用者の利便性向上を図る。</p> <p>●保管自転車の広報による利用者への情報提供 撤去自転車を保管した場合、撤去後に撤去日時と場所の情報をHP上に掲載し、盗難ではなく、市が撤去したことを知らせる。</p>
対 象 地 域	放置禁止区域、JR駅駐輪場付近の路上

### ⑤自転車等放置防止条例の改正


目 標	撤去自転車の保管スペースの確保と撤去・返還作業の効率化
実 施 内 容	<p>●保管スペースの確保</p> <p>撤去自転車の保管場所には限りがあるが、放置禁止区域の拡充や撤去活動の強化を実施していく中で、撤去台数も拡大するため、保管スペースの確保が急務となる。</p> <p>現在の6ヶ月の保管期間を短縮して、保管した自転車は売却し、代金により継続して6ヶ月間保管する仕組みとする。その仕組みにより、保管スペースを確保する。</p>

#### 【保管期間短縮による保管スペースの確保の計画イメージ】






## ⑥撤去自転車リサイクル

目 標	撤去自転車の有効活用と処分費用の低減、保管場所の確保	
実施内容	<p>●実施方法</p> <p>現在、6ヶ月経過後に所有者がなく引き取り手がない自転車をリサイクルしている。今後も、保管期間が経過しても引きとり手のない自転車のうち、再利用の可能なものについては整備を行い、公用自転車等として再利用を図る。また、レンタサイクルの自転車として有効活用する。</p> <p>●資源の再利用</p> <p>自転車として再利用が難しい状態のものは、資源リサイクルとして、分解し利用する。</p>	

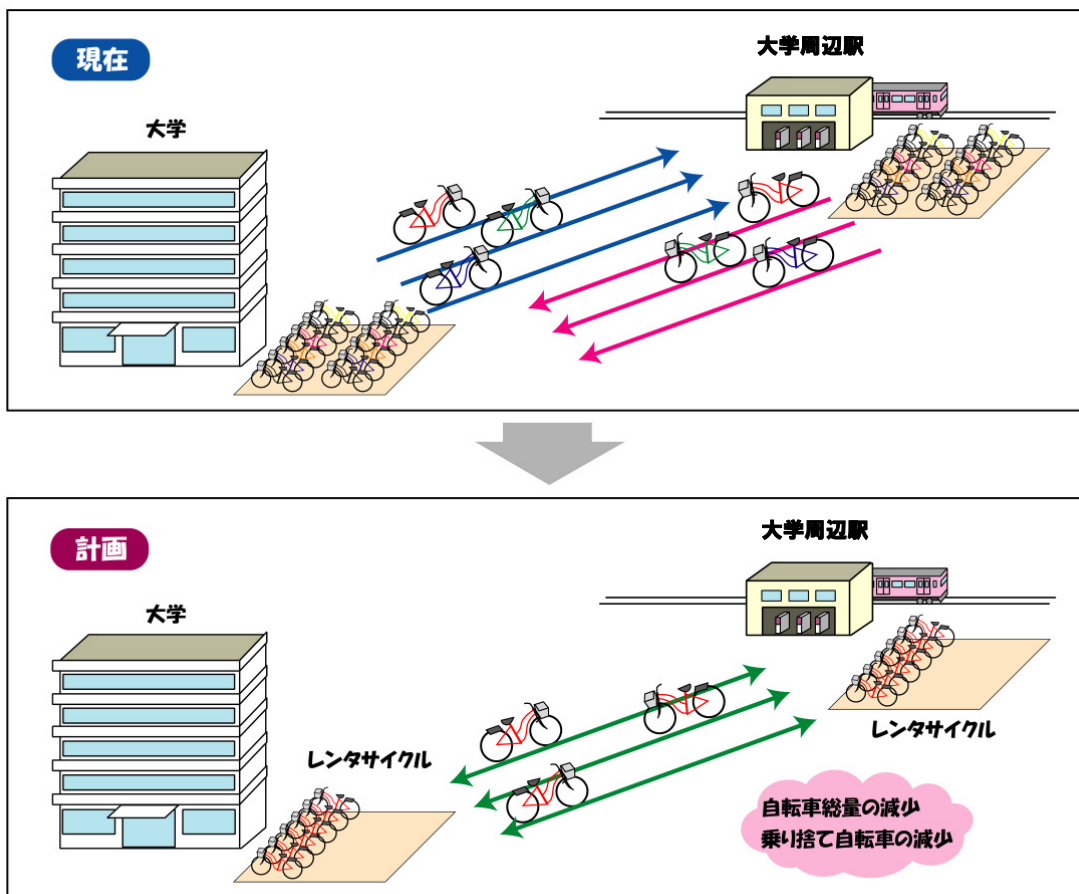
## ⑦レンタサイクル・コミュニティサイクル

目 標	自転車総量を抑制し、共同利用に心がけることで路上駐輪を防ぐ。	
実施内容	<p>●実施方法</p> <p>複数箇所にサイクルポートを設置し、どのサイクルポートでも借りることができ、返すことができるコミュニティサイクルシステムを導入している。</p> <p>安価で利用でき、利便性が高いことが普及の条件となるため、できるだけたくさんのサイクルポートを設置し、できるだけ多くの利用者を確保する。</p> <p>例えば、駅まで自転車で来る人と駅から自転車を使う人が共同で利用でき、駐輪場の収容台数に余裕が生まれる。また、駅前地区内で買物を目的に回遊する人同士が、共同で利用することで自転車利用の回転率も上がり、路上駐輪の削減が期待できる。</p> <p>また、新たな利用者需要を拡大するため、リサイクル自転車だけでなく、スポーツ車、子ども乗せ3人乗り自転車、電動アシスト自転車等の車種導入について検討を行う。</p> <p>さらに、既存の実施者の運用状況も踏まえ、実施主体の追加についても検討を行う。</p> <p>●新規実施候補地</p> <p>新潟駅周辺、郵便局、ホテル、商業施設、公園など、利用者の多い施設に設置し、ポート数の拡大を図る。</p>	

### ⑧大学内レンタサイクル(シェアリング)

目 標	みんなで共同利用することに心がけ、自転車総量を抑制する。
実 施 内 容	<p>●実施方法</p> <p>既存の駐輪場にサイクルポートを設置し、駅まで自転車で来る人と駅から自転車に乗っていく人が共同で利用できる仕組みとする。</p> <p>駐輪場ごとに入る台数と出る台数に違いがあるので、調査の上、バランスが適した台数を設置することとする。</p> <p>大学生の利用者が多いため、大学生同士のシェアリングや大学へのサイクルポートの設置などを大学と協力の上検討し、自転車総量を抑える方策を実施する。</p> <p>レンタサイクルとして使用する自転車は、学生が卒業する前の2月頃に呼びかけを行い回収し、自転車を整備して活用する。</p>
	<p>●実施場所</p> <p>大学にてサイクルポートを設置する。</p>
	<p>●対象者</p> <p>大学周辺の駅を利用する人を対象とする。</p>
対 象 地 域	大学及び大学周辺の駅

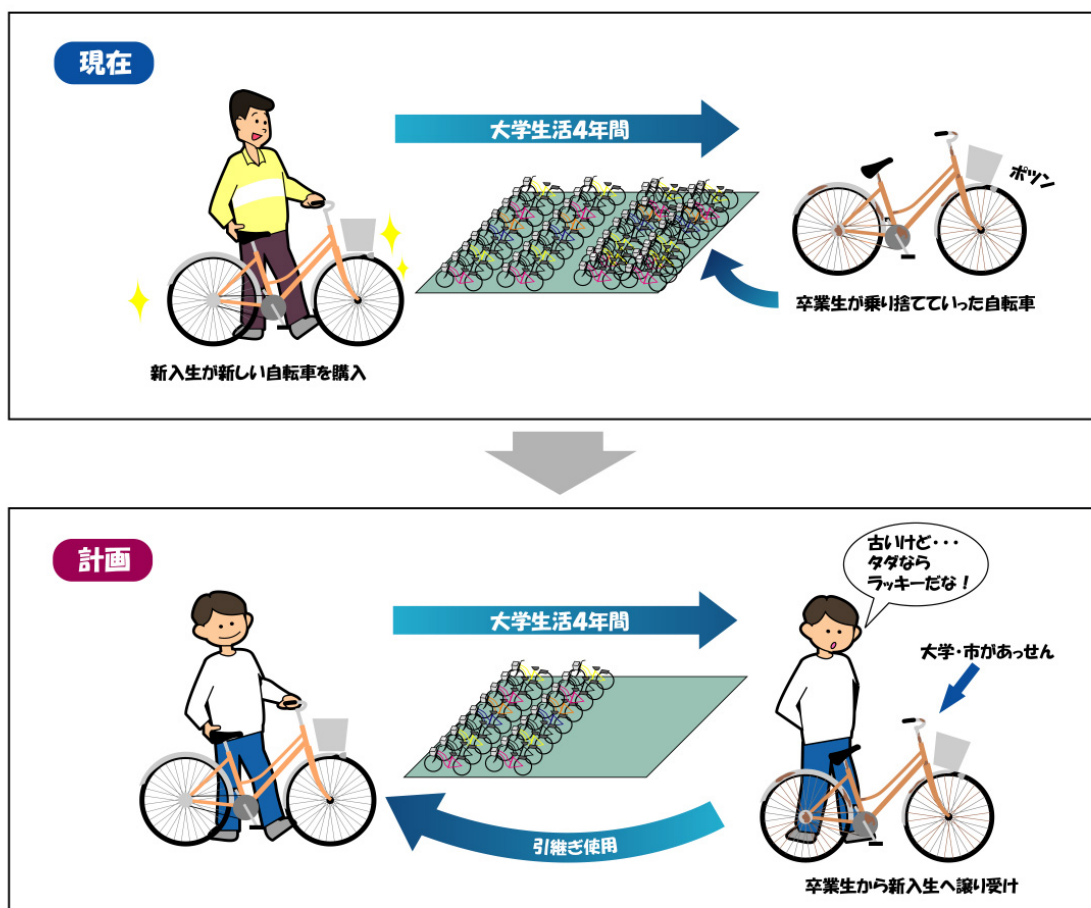
#### 【大学周辺でのレンタサイクルの計画イメージ】



### ⑨大学の卒業生から新入生への自転車の譲受け

目 標	卒業後の自転車の乗り捨てを防止し、駐輪場の収容台数を確保する
実 施 内 容	<p>●実施方法</p> <p>大学との協力により、卒業生で自転車を使わなくなった人から自転車を引き取る窓口を設置し、新入生へ無料で引き渡す仕組みをつくる。</p> <p>卒業生と新入生に対応する窓口は、駅周辺の駐輪場と大学生協などに設置する。引き取った自転車を一時保管する場所は大学内に設け、新入生への引渡しも大学内で行う。</p> <p>自転車は新入生に引き渡す前に、安全に利用できる自転車として整備・点検を施す。</p> <p>●対象者</p> <p>大学生</p>

#### 【卒業生から新入生への自転車譲り受けの計画イメージ】





## ⑩駐輪場の有料化

目 標	<p>自転車をとめるルールを明確にすることにより、自転車の適正な利用への誘導を図るとともに、駐輪場内の盗難の防止や自転車の乗り捨てを削減し、市民が不公平感を抱かない、安心して使いやすい駐輪場の整備、管理を行う。</p>
実施内容	<p>●実施方法</p> <p>新潟駅万代口の石宮公園地下自転車駐車場では、既に有料の駐輪場として管理運営している。現状の有料駐輪場の課題を踏まえたうえで、路上駐輪の撤去を行う放置禁止区域を対象に駐輪場の有料化について検討を進める。</p> <p>●有料化のねらい</p> <p>《利用の適正化》</p> <p>自転車が多く集まる駅や商業地域では、無料の駐輪場をいくら整備しても自転車の長期放置によって占有されている。撤去を行っても、再び放置によって占有されるため、有料化することで、駐輪場の適正な利用を図ることが可能になる。</p> <p>《適正な交通手段への誘導》</p> <p>駐輪場から目的地（集客施設等）への距離に応じて駐輪場の利用料金を変化させることにより、中心市街地での移動を徒歩や公共交通に誘導し、モールなど人の集まる空間での自転車通行量を低減することが可能になる。</p> <p>《使用目的に合致した利用の誘導》</p> <p>駐輪料金の課金を、商店街との連携による割引サービスや学生割引などと組み合わせることで、駐輪場の使用目的に合致した利用を誘導する事が可能になる。</p> <p>《徴収資金による駐輪自転車の安全確保》</p> <p>徴収した料金収入で管理人や巡回員を配置し、盗難やイタズラから自転車を守り、防犯の向上を図るとともに、自転車の乗り捨て削減を図ることが可能になる。</p> <p>《不公平感の緩和》</p> <p>自転車利用環境を整えることにより利益を受ける方々に、必要な費用を負担して頂く受益者負担のしくみとすることにより、市民サービスの公平化を図ることが可能になる。</p> <p>《受益者負担による、より利便性の高い駐輪場の設置》</p> <p>徴収した料金収入により、より便利な場所での駐輪場の整備や、使いやすく快適な駐輪場の整備が可能になる。</p> <p>《事業化による整備促進》</p> <p>駐輪場運営に収益性を与える事で、民間事業主体による駐輪場整備を可能とする。</p>